

議 事 録

- 1 会議の名称 平成 27 年度第 4 回水戸市都市交通戦略会議
- 2 開催日時 平成 28 年 3 月 1 日（火） 午後 3 時 00 分から午後 4 時 40 分まで
- 3 開催場所 水戸市役所本庁舎南側臨時庁舎 2 階 大会議室

4 出席した者の氏名

(1) 委員

(名簿順)

茨城大学工学部都市システム工学科 金 利昭
茨城大学工学部都市システム工学科 熊澤 貴之
東日本旅客鉄道（株）水戸支社総務部企画室 増子 隆行
鹿島臨海鉄道（株） 宮本 満
茨城交通（株） 任田 正史
関東鉄道（株） 本多 佳夫（代理）
関鉄グリーンバス（株） 荒川 安男
ジェイアールバス関東（株）水戸支店 佐藤 亮（代理）
（一社）茨城県バス協会 澤島 政志
水戸市住みよいまちづくり推進協議会 大関 茂
公募市民 米倉 彩乃
公募市民 根本 貴彬
公募市民 野原 香里
国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所 飯田 寛之（代理）
国土交通省関東運輸局茨城運輸支局 飯塚 正芳
国土交通省関東運輸局茨城運輸支局 飯田 孝志
茨城県企画部企画課 川上 敬一（代理）
茨城県土木部水戸土木事務所 小泉 恵三
茨城県土木部都市局都市計画課 肥高 孝之
水戸市市長公室 三宅 正人
水戸市建設部 檜山 隆雄
水戸市都市計画部 荒井 宰（代理）
水戸商工会議所 深谷 邦夫（代理）

※代理出席 6 名, 欠席 2 名

(2) 委託事業者

【一般財団法人計量計画研究所】

技術営業部長 鈴木 紀一, 研究員 高砂子 浩司, 研究員 稲原 宏

(3) 事務局

【水戸市市長公室交通政策課】

課長 須藤 文彦, 課長補佐兼係長 大嶋 実,

主幹 村石 俊弘, 主幹 小林 健典, 主事 大津 真奈美

5 会議次第

(1) 開 会

(2) 議 事

議案第2号 水戸市公共交通基本計画に関する協議について

議案第3号 平成28年度事業計画

議案第4号 平成28年度予算

(3) その他

ア 「水戸駅～大工町」共通回数券活用100円バス事業について

イ 路線バス利用者アンケート調査について

(4) 閉 会

6 配布資料

(1) 平成27年度第4回水戸市都市交通戦略会議資料

(2) 資料1 意見公募手続実施結果

(3) 資料2 水戸市公共交通基本計画（素案）

(4) 資料3 「水戸駅～大工町」共通回数券活用100円バス事業のアンケート調査結果

(5) 資料4 路線バス利用者アンケートの調査結果について

7 内容

	<p>※水戸市都市交通戦略会議規約第7条第1項に基づき、会長が進行を務めた。</p>
会長	<p>1 開 会</p> <p>【会長あいさつ】</p> <p>先日、京都市に行ってきたのですが、一日乗車券を購入すれば、バスを何回も乗り降りすることができ、非常に便利でした。水戸市もこのように便利にしたいと感じたところです。意見公募手続の結果を踏まえ、本日は、水戸市公共交通基本計画の素案について承認をいただくことが主題となりますので、皆様よろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>はじめに、本日の出席者数について、事務局から報告をお願いします。</p> <p>本日は、委員定数25名中23名の出席又は代理出席をいただいています。</p>
会長	<p>事務局報告のとおり、出席者数が過半数となっているため、水戸市都市交通戦略会議規約第7条第2項の規定を満たし、本会議は成立しています。</p> <p>次に、本日の会議について、会議の内容から、冒頭から終了時まで公開としてよろしいでしょうか。</p>

委員	[異議なしの声]
会長	<p>異議なしとのことなので、本日の会議は公開とします。</p> <p>また、本日の議事録署名人については、本人出席の委員を指名することとし、名簿の順に従い、____委員，____委員を指名させていただきます。</p>
	<p>2 議 事</p> <p>議案第2号 水戸市公共交通基本計画に関する協議について</p>
会長	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>11月末に開催した平成27年度第2回水戸市都市交通戦略会議以降の経過、意見公募手続の結果、そこでの意見等を踏まえて整理した水戸市公共交通基本計画の素案について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>[会議資料1，2ページ及び資料1「意見公募手続実施結果」に基づき、事務局から説明]</p> <p>【意見・質問等】</p>
会長	<p>意見公募手続の結果を踏まえて、内容を精査し、事務局から説明のあった3点について修正した基本計画の素案を、この会議で承認いただきたいというのが、今日の主題であります。</p> <p>まず、意見公募手続についてですが、資料1の意見公募手続の結果は公表されるものですか。</p>
事務局	<p>公表されるものです。時期につきましては、計画の公表と合わせて行うものですので、5月となります。</p>
会長	<p>意見公募手続において、提出者数や提出意見数は多いから良いというものではありませんが、関心の高さや市民の政策に対する参加、熟度の度合いを示していると言われることがあります。提出者数16人、提出意見数58件というのは、水戸市としてはどの程度のものなのですか。</p>
事務局	<p>水戸市の個別計画としましては、非常に多い件数となっております。意見公募手続を所管している部署からは、過去最多ではないかという話を聞いております。</p>
会長	<p>意見公募手続について水戸市のホームページで公開しているとのことでしたが、</p>

	<p>私自身、そのページを探すことができませんでした。ホームページの作り方をもう少し考えた方がいいのではないかと感じました。</p> <p>意見に対する回答については、悪い例としてよくありがちな「今後検討します」というような回答ではなく、それぞれの意見に対して丁寧に回答していると思います。私としては、意見について、すでに検討しているものはこの部分で検討している、その上で今回計画に取り入れないものは取り入れないとはっきり回答すべきだと考えています。</p> <p>基本計画の修正に関わる部分は資料1の2ページに記載のある3点になりますが、前向きに、建設的に修正されているので、特に問題ないと思います。委員の皆様で、意見公募手続についてご意見等がありますか。</p> <p>それでは、私の方から少し意見を述べさせていただきます。資料1の1ページの提出意見の内訳は、意見ナンバーと対応していると見やすいと思います。</p> <p>3ページのNo.1は進捗管理に関する意見ですが、基本計画の91ページにPDCAサイクルを回して進捗を管理していくとあるので、それを回答に記載した方がよいと思います。また、中間年で中間評価を実施した方がよいのではないかと思います。</p> <p>7ページのNo.13は補助金を無駄遣いしないというような意見ですが、水戸市では路線バスに補助金を出していないので、その辺にも触れて、今は事業者さんの努力でやっていることを記載してもよいのではないかと思います。</p> <p>8ページのNo.14や9ページのNo.18は観光に関する意見ですが、基本計画の中で観光に対するスタンスが分かりにくいので、観光に関する取扱いをもう少しはっきりさせた方がよいのではないかと思います。</p> <p>24ページのNo.56は自動車の利便性に関する意見ですが、基本計画の7ページで「過度に自動車に依存した交通体系から公共交通や自転車、徒歩を中心とした交通体系へと転換し」と書かれています。自動車から公共交通にシフトしていくということが基本計画のスタンスだと思いますので、回答にそのことを明確に記載した方がよいと思います。</p> <p>事務局長 基本計画の91ページにPDCAサイクルを回して進捗管理していくと記載しております。施策の実施段階（D）では、各施策の実施状況の確認を行い、必要に応じて施策内容や実施プログラムの見直しを随時実施するとしており、この中で中間評価を実施できると考えております。中間評価の実施を基本計画に明記するかどうかは検討させていただきたいと思います。</p> <p>会長 バス路線の第1次再編の後くらい、2019年あたりできちんと中間評価を行い、必要に応じて対策を講じ、その後の作業を進めていくことができればいいのではないかと思います。</p> <p>事務局 ご指摘を踏まえて、事務局で検討いたします。</p>
--	--

	<p>観光に対するスタンスにつきましては、基本計画の 52 ページにある基本方針において、2つ目に「分かりやすい公共交通」を設定しており、その中で、初めて利用する方でも分かりやすいサービスを提供することとしております。初めて水戸を訪れた方に、いかに分かりやすく公共交通を案内できるかが非常に重要なポイントになります。重点施策では、例えば、施策番号⑧「共通サインシステムの導入」において、外国人観光客でも一目で分かる情報提供を目指すこととしております。しかし、基本計画において、観光に対するスタンスを明確に位置付けているとは言いがたい部分もありますので、52 ページの基本方針の本文の表現を見直すなどして、分かりやすく説明するようにしたいと思います。</p>
会長	<p>観光客を対象とした施策があるのは分かりますが、スタンスが見えにくいように感じます。資料 1 の 1 ページの提出意見の内訳についても、観光に関する項目を設けた方がよいと思います。</p>
事務局	<p>自動車に関する意見につきましては、ご指摘を踏まえまして、基本計画の 7 ページの表現を参考にしながら、意見公募手続の回答を見直したいと思います。</p>
会長	<p>自動車が重要な役割を果たす地域や活動もあると思いますが、これまでずっと自動車を優遇してきたしお寄せが、歩行者、自転車、公共交通にきているという状況なので、過度の自動車利用を適正に他の交通手段に振り分けていくことが必要だと思います。それをうたったのが基本計画の 7 ページだと思うので、それを回答に記載すればよいと思います。</p> <p>意見公募手続では、極端に偏った意見が提出されることがあるので、すべての意見に対してそのとおりですと回答する必要はなく、交通会議等で検討してきたことを回答すればよいと思います。</p> <p>他にご意見等がありますか。</p>
委員	<p>資料 1 の 1 ページの提出意見の内訳について、「重点施策に関すること」が 39 件となっているのですが、その内訳を合計すると 44 件になります。その理由を教えてください。</p>
事務局	<p>1 つのご意見の中に要素がいくつかあるものがあるため、このような内訳となっております。資料の公表に当たりましては、件数と内訳の整合が取れるように修正したいと考えております。</p>
会長	<p>他にご意見等がありますか。</p> <p>それでは、私の方からお聞きしたいと思います。11 月末に開催した第 2 回交通会</p>

	<p>議において、バス事業者さんから、乗り継ぎは本当に利用者に受け入れられるのかといったご意見がありました。それに対して、事務局は、路線バスの利用者にアンケート調査を実施して、その結果を見ながら検討するという回答をしていました。本日の会議次第の「その他」に「路線バス利用者アンケート調査について」とありますが、そのアンケート調査結果の中に乗り継ぎに関する項目もあるようですので、そちらを先に説明していただき、それを踏まえてご意見をいただきたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">路線バス利用者アンケート調査について</p>
計量計画研究所	[資料4「路線バス利用者アンケートの調査結果について」に基づき、計量計画研究所から説明]
会長	平成22年度に実施したバス交通実態調査の結果と大きく変わったところがありますか。
計量計画研究所	満足度についてはそれほど変わっておりませんが、定時性に対する不満が大きく出ております。
会長	今回は、路線バスの利用者に対するアンケート調査だからでしょうか。
計量計画研究所	そのように考えられます。
会長	乗り継ぎの選択意向は、乗り継ぎ割引だと約2割、直通と同じ料金だと約4割となっています。この結果をもって、幹線、支線に分けて、乗り継ぎをさせるというシステムを実施していいか、バス事業者さんの心配を払拭するにはどうしたらよいかということになりますが、この幹線、支線に分けるというやり方は、国の手引きにもある、いわゆる全国的な模範解答ですよ。そうすると、すでに実施している自治体があると思うのですが、うまくいっている自治体はどこで、うまくいっている場合にはどういう工夫がなされているのか。今回のアンケート結果を受けて、水戸市ではどういうことを考えていけばいいのか。その辺について、計量計画研究所さん、できれば茨城運輸支局さんからもご意見、アドバイスをいただければと思いますが、いかがでしょうか。
計量計画研究所	幹線・支線の考え方は、全国の様々な自治体で採用されておりますが、成功事例としては、盛岡市の松園バスターミナルがあります。松園ニュータウン内を回遊する路線バスの利用者は、ニュータウン近くのバスターミナルで乗り継ぎを行い、そこから市中心部に向かっていきます。うまくいっている理由としましては、バスターミナルをしっかりと機能させていること、バスレーンや優先信号システムを整備す

	<p>ることによりバスターミナルから中心部までの定時性を担保していることが挙げられ、利用者の満足度も高くなっております。バスターミナルがうまく機能することで、周りに商業施設が立地するという副次的な効果も見られております。このようなところを参考にして、水戸市でも取り組んでいければと考えております。</p>
会長	<p>事務局では何かはありますか。</p>
事務局	<p>基本計画の 55 ページの「将来の公共交通ネットワーク」において、交通結節点の候補地を青色の丸で示しておりますが、これらの候補地すべてを乗り継ぎのポイントにするという訳ではありません。今後、既存のバス路線を尊重しながら、幹線と支線に分ける作業を実施していくこととなります。具体的には、平成 28 年度に地域公共交通再編実施計画を策定していく中で、バス事業者様と十分に協議をしながら、ふさわしい交通結節点を選定していきます。</p>
会長	<p>茨城運輸支局さんから何かアドバイスをいただければと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>ひとつの考え方になりますが、本当に必要な方は公共交通を利用します。そう考えると、交通会議で利便性等について考えるのは重要ですが、最終的には利用者がどう考えるか、住民にいかに参加してもらうかということが重要になります。住民が自ら利用することの必要性を感じたときに、乗り継ぎもうまくいくのではないかと思います。また、交通結節点には何かしらの工夫が必要になると思います。交通結節点がコミュニケーションの場になるとか、商業施設が集まってくるとか、何かしらの付加価値を付けることが必要になると思います。</p>
会長	<p>茨城県さんから何かありますか。</p>
委員	<p>交通結節点の候補地がいくつかありますが、交通結節点を整備するにはそれなりの面積を確保する必要があると思います。県庁バスターミナルくらい場所を確保することができるのかが気になるところです。</p>
会長	<p>それでは、バス事業者さんからご意見をお願いします。</p>
委員	<p>路線バス利用者アンケートの結果を見ると、定時性の確保が求められておりますが、これは道路環境に大きく左右されます。片側 2 車線でバス専用レーンがあれば定時性は確保されると思いますが、県庁、平須方面に向かう旧 6 号国道を通る路線では、特に朝夕の時間帯は、学校への送迎等で交通量が多く、右折レーンがないため、右折車両があると渋滞してしまうなど、定時性が確保できていない状況です。利用者からも定時性に対する不満の声が寄せられています。交通結節点で乗り継ぎ</p>

<p>会長</p>	<p>をするに当たっては、利用者がストレスなく乗り継ぎできることが大前提になると 思いますので、道路環境の視点からも考えていかないと難しいのではないかと 思います。</p> <p>定時性の確保には道路環境の改善も必要ということで、道路を拡幅するという方 法がありますが、これはなかなか難しい状況であります。国道 50 号にはすでにバ ス専用レーンが設けられていますが、バス以外の車両が入ってしまい定時性の確保 につながっていないということがありますので、取り締りを強化し、規制を徹底す る必要があると思います。バス路線を幹線と支線に分けることは、定時性確保の一 つの方策でもあります。路線延長が長く、終点に近づくにつれて遅れていってしま うものを、途中で分割することにより、定時性を確保するというねらいもあります。 他にいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>路線バス利用者アンケートの結果から、定時性の確保が課題となっていますが、 それを解決するには、やはり道路環境が重要になると考えます。ダイヤが悪いので はないかとよく言われます。確かにダイヤにおいて工夫すべき点、改善すべき点は まだありますが、法律上、ダイヤより早くバス停を通過することはできない状況に ある中、バス停において道路に停車したままダイヤの時刻まで待つことは、事故や 渋滞の原因になってしまうため、特に水戸市内ではバス停間の時間を短めにしてダ イヤを組んでいる状況です。そのため、少し渋滞があったり、雨の日だったりする と遅れが生じてしまいます。雨の日は、自転車が減り、バスに乗る人が増えるので すが、自動車も増えるため、結果的に普段より余計に渋滞が発生し、雨の日にしか バスに乗らない方などは、乗るたびにいつもバスは遅れていると感じてしまうとい う悪循環に陥っています。定時性の問題を解決する方法の一つとして、道路環境の 改善というのは大きいのではないかと思います。</p> <p>交通結節点については、うまくいくものとうまくいかないものがあると思いま す。盛岡市の事例は、環境的、地勢的に利用者の利便性にうまく合ったのだと思 います。さきほど事務局が言ったように、候補地すべてを交通結節点にするとい うことではなく、その中で有効なものは交通結節点にし、そうでないものはあえて交 通結節点にする必要はないと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>バス事業者にとって定時で運行できることが一番大事だと思います。利用者は到 着時間を考慮してそのバスを利用しています。水戸市の場合は、バス専用レーンが 設けられているところもあるので、規制を徹底することで利便性が上がるのではな いかと思います。</p> <p>当社の路線は、銚田方面から茨城町を通過して水戸駅まで運行しているのですが、 すべてを交通結節点で乗り継ぎとするのではなく、水戸駅まで直行するものも必要 であると思います。我々は乗り継ぎによるストレスを一番心配しています。机上で は非常に乗りやすいバスにしたつもりが、実際にやってみたら乗りづらかったとい</p>

	うことになる可能性もありますので、乗り継ぎによるストレスをいかになくすかということに注意して実施していく必要があると思います。
会長	バス事業者さんからのご意見、ご要望を十分に踏まえながら、慎重に検討していくということで、事務局はよろしいですか。
事務局	はい。
会長	それでは、いろいろとご意見をいただきましたが、意見公募手続における意見への回答については私から細かい点でまだ意見があるので、私にお任せいただきまして、水戸市公共交通基本計画（素案）につきまして、本日いただいた意見は計画への反映に努め、市役所庁内の庁議へ提出し、計画決定の手続きを進めてまいりたいと思いますが、ご承認いただけますか。
委員	[異議なしの声]
会長	ありがとうございます。では、水戸市公共交通基本計画（素案）はご承認いただいたということで進めさせていただきます。
	<p style="text-align: center;">議案第 3 号 平成 28 年度事業計画 議案第 4 号 平成 28 年度予算</p>
	続きまして議案第 3 号「平成 28 年度事業計画」及び議案第 4 号「平成 28 年度予算」につきまして、関連する内容ですので、一括してご審議いただきます。事務局から説明をお願いします。
事務局	[会議資料 3 ～ 6 ページに基づき、事務局から説明]
	【意見・質問等】
会長	ただいまの説明について、意見・質問等がありますか。
委員	予算について、国の補助金はいくらくらいもらえそうな感じですか。
事務局	国庫補助金として 20,400 千円を計上しておりますが、その内訳は、地域公共交通再編実施計画の策定に係る補助金が 20,000 千円、こちらは定額の補助金となっております。残りの 400 千円が事業に対しての補助金ということで、補助率は 2 分の 1 となっております。主に観光客を対象とした公共交通マップの作成に 700 千円、路線バス体験学習事業に 100 千円、合わせて 800 千円を事業費として想定しており、

	<p>その2分の1の400千円を計上しております。</p> <p>補助金の配分率につきましては、国に対して多くの補助申請がなされている状況ですので、満額配分される可能性は低いと考えておりますが、半分程度は再編実施計画の補助金がいただけるのではないのでしょうか。3月10日前後に内示をいただけるということで、今回の交通会議には間に合わなかったのですが、内示の額に従いまして、国の補助金に見合った支出を執行してまいります。</p>
委員	<p>補助金の配分が半分くらいだとすると、予算額と実際使える金額にかなりの差がありますが、それによって平成28年度の事業計画に大きな支障が生じるということはないのでしょうか。</p>
事務局	<p>国が補助金を満額配分する可能性は低いと考えておりまして、その分、水戸市からの負担金として計6,200千円の予算措置をしておりますので、再編実施計画の策定に支障がないように執行管理をしていきたいと考えております。</p>
会長	<p>茨城運輸支局さんから何か言えることはありますか。</p>
委員	<p>我々も関東運輸局から詳細な情報は聞いていないのですが、事務局がおっしゃったように、補助金の申請をしている自治体が非常に多いということで、どうしても査定が入ってしまうという話は聞いています。今年度中に地域公共交通網形成計画を策定する自治体数が非常に多いので、その次にある地域公共交通再編実施計画を平成28年度に策定する自治体数も非常に多いということになります。補助金の全体額は限られていますので、頭割りすると、配分額は少なくなってしまうという状況です。</p>
会長	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>他に質問がないようですので、議案第3号及び議案第4号につきまして、ご承認いただけますでしょうか。</p>
委員	<p>[異議なしの声]</p>
会長	<p>ありがとうございます。異議なしということで、承認することといたします。</p>
	<p>3 その他</p> <p>「水戸駅～大工町」共通回数券活用100円バス事業について</p> <p>最後に、「水戸駅～大工町」共通回数券活用100円バス事業につきまして、事務</p>

事務局	<p>局から説明をお願いします。</p> <p>[資料3 「水戸駅～大工町」 共通回数券活用 100 円バス事業のアンケート調査結果]に基づき、事務局から説明]</p> <p>【意見・質問等】</p>
会長	<p>100 円バス事業による誘発効果，例えば，これまであまり外出していなかった人が外出するようになったとか，バスの短距離利用が増えたとか，中心市街地の人通りが増えたとか，せめて何かの機会に商店街のお店の方の声くらいは把握しておいてもいいのではないかと思います。</p>
委員	<p>商工会議所では現時点でその辺は把握していませんが，商店街の方に調査をしてみたいと思います。</p> <p>通常運賃との差額の 70 円は誰が負担しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>水戸市都市交通戦略会議が負担しております。</p>
委員	<p>継続を希望する方が多いですが，来年度も 100 円バス事業の予算を確保していただけるという理解でよろしいでしょうか。</p> <p>また，100 円バス事業に対するバス事業者さんのご意見もお聞かせ願います。</p>
事務局	<p>現時点では，平成 28 年度に 100 円バス事業を実施する予定はございません。今年度 100 円バス事業を 2 回実施しましたが，アンケート結果を見ますと，もともとバスで通勤していた方が 100 円バス事業の回数券を使用して通勤していたという結果から，バス事業者様にとっては定期券利用の妨げになってしまうことが考えられます。その一方で，徒歩で通勤していた方が，短距離ではありますが，バスに乗るようになったという前向きな捉え方をすることもできます。このような点を踏まえまして，今後実施すべきかどうか，バス事業者様と協議する必要がありますので，現時点では平成 28 年度に実施する予定はないという状況でございます。</p>
会長	<p>バス事業者さんからご意見はありますか。</p>
委員	<p>利用者の声は聞いておりませんが，同じ人が回数券を何冊も購入しているということがありました。また，アンケートの結果から，徒歩や自転車からの転換が見られますが，徒歩や自転車の方は雨が降ったら 100 円でなくてもバスに転換しますので，そういった利用がアンケート結果に含まれている可能性も考えられます。ある一定期間での実施で，周知も十分に行き届かなかったということはあるかもしれませんが，100 円バス事業を実施した効果があったかという点，正直疑問に感じる点</p>

	<p>はあります。</p> <p>茨城交通と関東鉄道は今年度ＩＣカードを導入し、回数券をなくしていった中で、100円バス事業の回数券を集計する作業は、業務上負担がかかってくるということもあります。恒常的に実施していく意味はあるのか、市の税金をかけて実施していく意味はあるのかという、正直疑問に感じます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。今のご意見も踏まえながら今後の取組につなげていただければと思います。</p> <p>他にご意見、ご質問はありますか。</p>
委員	<p>100円バス事業の回数券を購入し、いつか使う機会があるだろうと思っていたら、なかなか水戸駅から大工町間でバスを利用する機会がありませんでした。大学から中心市街地間でバスを利用する機会はあったので、学生の立場からすると、大学から中心市街地間でバスの利用が100円になるという回数券があるといいのではないかと思います。</p>
会長	<p>全体を通してでも構いませんので、何かありますか。</p>
委員	<p>意見公募手続について、私は、公共交通に関心がある方に、市民センターに集まっていたいただき、私から公共交通基本計画の概要を簡単に説明して、ご意見をいただくという集まりを2回開催しました。2回とも5、6人の方に集まっていたいただき、その場で意見を書いていただいたりもしました。市民センターに計画書を置いて、意見をくださいと言っても、なかなか意見できないと思います。ホームページや市民センター等の市の窓口を通して、多くの方に知ってもらおうというのはもちろん大事なのですが、たった1人の方でも市が何をやろうとしているのか理解してもらうことも大事で、今回参加していただいた方から、参加してよかったという声も聞けたので、やってよかったと感じています。</p>
会長	<p>その場で書いてもらった意見は、今回の意見公募手続に反映されていますか。</p>
委員	<p>反映されています。</p>
会長	<p>今回は、これまでに水戸市で実施した他の意見公募手続と比較すると、かなりの反応があったということで、よろしかったと思いますが、もう少し工夫することでより多くの方に市のやろうとしていることが届くということがありますので、水戸市の情報提供や情報収集のやり方にもう一工夫ほしいと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>バス事業者ヒアリングを実施したとのことですが、その結果は来年度に生かされ</p>

<p>会長</p>	<p>るのだと思います。意見公募手続における意見に対する回答を見ると、水戸市の覚悟の程が確認できます。しかし、重要なのは、来年度、実際に何ができるかをきちんと議論することです。定時性の確保といっても、さきほどバス事業者さんが言っていたように、実際には最低でも片側二車線あってバス専用レーンがないとなかなか難しいという話になると思います。来年度にいろいろと議論していく中で、実際に何ができるかということをきちんと詰めていってほしいと思います。</p> <p>公共交通に関して、いろいろな意見があると思いますが、それらすべてを聞いて何がしたいのか分からなくなってしまうのではなく、計画に位置付けた基本方針に基づき、公共交通を守り育てていくというスタンスを崩さずに取り組んでいく必要があると思います。来年度もこの会議は続くので、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>本日の会議は以上となります。進行を事務局にお返しします。</p> <p>4 閉 会</p> <p>[閉会のあいさつ]</p>
-----------	--